授業開発部・ＳＳＨ部

**授業改善のための工夫の見せどころシート**

本時の見せどころは・・・

教科　　　　氏名

授業実施日：平成　　年　　月　　日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **視点** | | | **記述欄**  この吹き出しは消さないでください。  ５の☆と対応して  強調した記述をしてください。 |
| **科目・研修名** | | | 〇〇〇〇 |
| **出入口** | **1** | **生徒・受講者** | ①所属　〇〇科〇年〇組  ②人数　〇〇人（男子〇人、女子〇人）  ③特徴・ニーズ　　〇〇〇・・・・・ |
| **2** | **授業・研修の位置づけ** | 以前学んでいたことで、知らないと困ることは何ですか  　〇〇〇・・・・  次にどこで使いますか  　〇〇〇・・・・・ |
| **方法・内容** | **3** | **本時の内容と**  **具体的方法**  **（C/Eの問い、**  **指導方法、展開）** | ①題材  　　〇〇〇・・・・・  ②C/Eの問い　「〇〇〇・・・・・？」  ③方法　□講義　□演習　□グループワーク　□実演　□実習  ④ＩＣＴ　□実物投影機　□タブレット　□  　　〇〇〇・・・・・、〇〇〇・・・・・    小単元の時間数に合わせて表現してください。  また、この授業を（本時）として表示してください。  複数時間配当の場合、  1/2（２時間配当の内の１時間目）のように  表現してください。  ⑤単元計画  　（１）・・・・・  　（２）・・・・・  　（３）・・・・・（本時）  　（４）・・・・・ |
| **出口・評価** | **４** | **教員の**  **評価の方法** | ①方法  □小テスト、□定期考査、□レポート、□シート提出、□実技テスト  　（〇〇〇・・・・＜具体的な特徴があれば記述する＞）  重きを置いているところの☆を★としてください。（イメージは「見方・考え方」）  ひらがなで「ほし」と入力すると出てきます。  右上の吹き出しに、その理由を記述してください。  ②ＩＣＥに当てはめると？  □ideas（知識、技能の習得）：  　〇〇〇・・・・・  □connections（既知の知識・概念や他領域とのリンク）：  　〇〇〇・・・・・  □extensions（応用、活用）：  　〇〇〇・・・・・ |
| **５** | **科目や学校全体の教育目標との一致** | みつめる力　　　　きわめる力　　　　つなげる力  ☆☆☆　　　☆☆☆　　　☆☆☆ |
| **生徒の自己評価** | **６** | **生徒のリフレクション** | 〇〇〇・・・・・  「生徒の振り返り」ですので、  「～できたか？」の表現にし、  その項目を生徒に評価させてください。 |
| **７** | **ＩＣＥモデルに当てはめると** | □ideas（知識、技能の習得）：  　○○〇・・・・・できたか？  □connections（既知の知識・概念や他領域とのリンク）：  　〇〇〇・・・・・できたか？  □extensions（応用、活用）：  　〇〇〇・・・・・できたか？  「ID:インストラクショナル・デザイン入門」というプリントや紹介本「～道具箱１０１」などを御覧ください。  「メリルの第一原理」や「ガニェの９教授事象」、「ARCSモデル」から適用してみてはいかがでしょうか？ |
| **継続** | **８** | **教員のリフレクション** | 〇〇〇・・・・・ |
| **９** | **IDモデルに当てはめると？** | 〇〇〇・・・・・ |

**※日本教育工学会FDセミナー「大学授業設計の点検ワークシート」（2015）に、IDモデル用いた分析及び改善案の検討を追加されたものをもとに、熊本県立第二高等学校版として作成。**